

今月の「輝き！」さん
No. 108



なかはし りい 株式会社北野組 中橋瑠衣さん	
所 属	工務部
経験年数	3年
年 齢	21歳

白山市鶴来新町の会社事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

—あなたの会社について教えてください。
 弊社は昭和26年設立で、砂防堰堤工事や急傾斜地崩壊対策工事をはじめ、県水送水管事業や上水道タンクの工事等を手掛ける総合建設会社です。私は、工務部に所属し「平等寺川砂防堰堤工事」の現場監督として頑張っています。

—令和6年能登半島地震では道路啓開に出勤したそうですね。

先輩と3人で3回、現地作業に行ってきました。土砂崩れや道路損壊の現場で、いずれもひどい状態でしたし、特に輪島朝市通りの火災跡地を見た時には言葉が出ませんでした。私は、崩れた土砂をダンプで運んだり、亀裂が入った道路を碎石等であら直して転圧する作業等を担当しましたが、雨や雪の悪天候で重機が斜面を登れない日があるなど環境的には大変でした。作業以外でも仮設トイレを積んだ車の使用や、4トンダンプでの車中泊など大変貴重な体験ができたので、希望して行って良かったと思います。この経験を今後に生かしていきたいと思います。

—建設業を選んだ理由、入社のもちめ等について教えてください。

小さいころから建設用重機が好きで、「自分で乗りたい。運転したい。」と思い続け、高校の土木科を卒業して迷わず建設業に入りました。北野組を選んだのは、求人内容や白山野々市建設業協会の方々が高校に来られた意見交換会での印象もありましたが、私の母が社長さんと同級生だったというご縁もあったからです。弊社は、先輩が優しく何でも話せる雰囲気であり、大変働きやすい会社だと思います。

—これまでで思い出に残る現場、苦勞した現場はありますか？

今担当している「平等寺川砂防堰堤工事現場」です。入社1年目に初めて入った現場で、現在も工事が続いており、一番印象に残る現場となっています。この現場は、下から20～30分歩いて登る場所にあり、機械や資材も運び上げなければならないなど不便ですが、先輩に色々教わりながら頑張っています。

—仕事の苦勞や、やりがいを感じる時、心がけていることはありますか？

山地での測量は高低差があって難しいし大変だと思いますが、担当している作業は、元々、重機が好きだったこともあり苦にならず、運転や操縦を自分に任されていることにやりがいを感じています。社長が「なかなか重機のセンスがある。」と言ってくれるので張り切っています。現場では、安全への配慮はもちろん、周りをよく見ることを心掛けており、作業の進み具合を見ながら、今自分が何をしたらいいかを常に考えて仕事をするようにしています。

—将来の夢、目標は？

今年秋頃の「二級土木施工管理技士試験」の合格が当面の目標です。必要な資格を取得し、少しでも早く先輩に頼らずに自分の現場が持てるようになりたいと思います。

—最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

建設業は、キツイ等のマイナスイメージを持たれがちですが、やりがいのある仕事ですし、休みもしっかりとれます。自分には無理なんじゃないかと心配したり、迷っている方は、是非チャレンジしてください。一緒に働きましょう。



けんせつ一番星☆

[-Sunset Express-MOVE]
 毎月第4火曜日 18:00～18:05



エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。是非お聞きください。